

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(小学校用)

| | |
|-------|-----|
| 都道府県名 | 東京都 |
|-------|-----|

学校の概要 (平成 15 年 4 月現在)

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| 学校名 | 東京都八王子市立第一小学校 | | | | | | | | |
| 学 年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 特殊学級 | 計 | 教員数 |
| 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 14 | 21 |
| 児童数 | 67 | 55 | 57 | 50 | 52 | 68 | 13 | 362 | |

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本を充実させる指導の工夫 ～国語科「書くこと」の活動を通して～

2. 研究の内容と方法

(1) 実施学年・教科 全学年・国語

主題に迫るための5つの柱

『書くこと』における児童の実態分析と意識調査

- ・学力検査(国語・算数 2～6年)を年度当初に実施し、それぞれの領域について、学校・学年・学級・個人におけるつまずきの発見、並びに指導方法の見直しと改善を図る手立てとする。
- ・併せて、教科・領域に対する意識調査も実施し、児童の実態把握と指導法の改善に役立てる。尚、各単元に其の領域における意識調査を行い、グループ分けの参考とする。

評価規準の設定

- ・各学年にどんな力を身に付けさせるか、学習指導要領に示された目標・内容を基に、各学年の評価規準を作成し、基礎・基本を明確にする。
- ・それに基づいて各単元・題材のねらいの重点化を図り、年間更には6学年を通してそのねらいが達成できるよう、単元構成表並びに年間指導計画を作成する。
- ・また、ねらいの重点化を図ることで、指導者は児童の実態を考慮しながら、補充・発展の指導の内容を構成していくことに努める。

指導法の工夫

算数の少人数担当として1名過配されているが、国語の少人数担当の過配はない。そこで指導の工夫を可能にするために嘱託員に、一斉指導、少人数指導、TTによる指導を任せている。(単元や題材の内容・構成によって使い分けている。)

- ・少人数学習集団を活用した指導方法
 - …全学年に国語科で少人数学習集団による指導法を導入することは数量的(人、時間)に無理がある。そこで、個々の児童の習熟に変化の見られる3年以上で、少人数学習集団による指導を取り入れている。
- ・少人数指導の時間割を作成
 - …低・中・高学年毎に、年間指導計画の『書くこと』の領域にかかわる単元・題材を吟味し、どの単元・題材で少人数学習集団による指導を取り入れるかを、検討をする。極力重複しないように研究推進委員会で調整をする。重なった場合でも、指導過程をずらして少人数学習集団における指導を組み入れた時間割の構成をしている。
- ・少人数学習集団の編成
 - …児童一人一人の学習の定着状況を把握し、一人一人の学び方に応じた効果的な指導ができるような集団を編成する。単元のどの過程でどのような特性をもつ集団を編成していくことが効果的なのか試行しながら次年度の計画に活かしていくようにする。
- ・教材・教具の開発
 - …児童の習熟や興味・関心に応じて選択できるような教材を開発する等、児童が学習に意欲的に取り組めるようにするために教材・教具の開発を行う。
- ・国語教室の整備
 - …ゆとり教室を活用して国語教室を設置し、整備していく。

評価方法の工夫

児童の学習状況を適切に評価し、次の支援に活かす。そのためには、どの場面の何をとらえたらよいのか吟味し適切に評価できるように工夫することで、指導と評価の一体化を図っていく。

補充学習の充実

学習内容の定着が不十分な児童に対し補充学習の教材の開発に努め、その学習内容を学習過程のどの場所に位置付け行えばよいのか検討し、充実を図る。

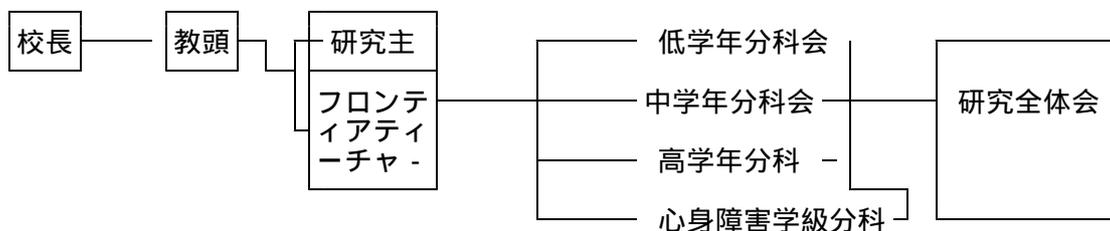
研究の方法

低・中・高・心身障害学級の分科会組織と全体会とで研究を進める。各分科会は、提案研究授業を公開し、講師に指導・助言をいただき全体で協議する。学力調査および実態調査を実施し、授業研究に生かす。

(2) 年次ごとの計画

- ・平成15年度～上記の通り。また、平成16年2月20日中間発表会を開催する。
- ・平成16年度～平成15年度の内容をより深化させ、研究発表会を実施する予定。

(3) 研究推進体制 ～研究主任とフロンティアティーチャ-を中心として～



平成15年度の成果と課題

(1) 成果

書く能力の向上...「自分でもこんなに書けると思わなかった」「書くことが好きになった」という児童の割合が増えた。

少人数指導の工夫...習熟度別スモールステップでの学習、課題別テーマの選択での実践を進め、学習効果が検証できた。

(2) 教材・教具の工夫

「モデル文」の作成...自分の目指す形をイメージし、基準に到達できた。また、「国語教室」の整備を行った。

(3) 評価の工夫

評価基準の設定、個応じた学習カルテによる学習支援...指導と評価の一体化

(4) 課題

- ・評価基準についてさらに検討を進める。
- ・朝の学習の時間の活用など、教育課程全般の見直し。
- ・国語教室の整備
- ・他教科への学習転化

学力把握のための学校としての取り組み

- ・1学期4月15日に2～6年生に学力テスト(国語)を実施
- ・7月9日に市の学力テスト(国語、算数)を実施
- ・9月、10月、12月、に実態調査(意識調査)を実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・平成16年2月20日中間発表会を開催
- ・ホームページに研究成果をアップし、公開
- ・フロンティアティーチャ-としての活動実績の報告

~~~~~  
次の項目ごとに、該当する個所をチェックすること

- ・新規校・継続校      15年度からの新規校
- ・学校規模              13～18学級
- ・指導体制              少人数指導      T・Tによる指導
- ・研究教科              国語
- ・指導方法に関わる加配の有無      有(算数を担当する1名)